



Press Information

VPR21-043

2021年9月30日(木)

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社

「T-Cross」、2021年上半期登録台数 輸入車 SUV カテゴリーで第1位を獲得 クロスオーバーSUV「T-Roc」も 2021年上半期同カテゴリーにて第2位



コンパクト SUV「T-Cross」



クロスオーバーSUV「T-Roc」

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社(代表取締役:ティル シェア、本社:愛知県 豊橋市、略称:VGJ)は、フォルクスワーゲンの SUV シリーズの中で最も小さなコンパクト SUV「T-Cross(ティークロス)」の2021年上半期(1月~6月)における登録台数が5,193台*となり、輸入車 SUV カテゴリーにおいて第1位を獲得しました。

また、2020年6月に発売を開始したクロスオーバーSUV「T-Roc(ティーロック)」は、2021年上半期(1月~6月)における登録台数が3,854台*となり、輸入車 SUV カテゴリーにおいて「T-Cross」に次いで第2位となっています。

*日本自動車輸入組合(JAIA)モデル別輸入車新規登録台数に基づくVGJ調べ

「T-Cross」は、コンパクト SUV として日本の道路環境にマッチしたボディサイズによる取り回しの良さやラゲージルームの広さなどの実用性の高さなどが評価されています。2020年1月末より販売を開始し、2020年の年間登録台数は8,930台と輸入車 SUV としてトップの登録台数(VGJ調べ)を記録。そして今年の上半期も第1位を獲得し、多くのお客様にご好評いただいています。

「T-Roc」は、クーペのように流麗なボディスタイルを有したスタイリッシュなデザインが特徴なクロスオーバーSUVで、SUVならではの力強いデザインや見晴らしの良さ、さらに街中での取り回しの良さやスポーティな走りが高く評価されています。

VGJは、「T-Cross」「T-Roc」に、今年5月にマイナーチェンジを施した「Tiguan(ティグアン)」を加えた3モデルでSUVシリーズのラインアップを展開することで、引き続き多様化するSUVマーケットのニーズに応えていきます。